

令和6年度

# 鴛泊港長期構想検討業務

## 報告書

令和7年3月

利 尻 富 士 町

一般社団法人 寒地港湾空港技術研究センター

# 【 目 次 】

1. 検討概要	
1.1 検討目的	1-01
1.2 検討箇所	1-03
1.3 検討内容	1-04
1.4 検討スケジュール	1-05
2. 利尻富士町及び鴛泊港の情勢変化の整理	
2.1 利尻富士町の現況に関わる変化	2-01
(1)人口・世帯数	2-01
(2)交通アクセス	2-02
(3)産業構造	2-03
(4)水産業	2-04
(5)観光	2-06
(6)港湾取扱貨物量	2-10
2.2 利尻島の現況と取組	2-12
(1)観光関連	2-12
(2)二次交通	2-16
(3)利尻島内の年間イベント	2-19
(4)アクティビティ	2-20
(5)サイクリング	2-21
(6)水産業関連	2-22
(7)みなとオアシス	2-25
(8)その他	2-26
2.3 利尻富士町のまちづくり計画	2-26
(1)利尻富士町まちづくり創造総合計画	2-26
(2)地球温暖化対策実行計画	2-29
(3)鴛泊市街地整備計画マスタープラン	2-30
3. 現長期構想の総括	
3.1 現長期構想の概要	3-01
(1)平成13年度 鴛泊港長期構想	3-01
3.2 現長期構想の進捗状況	3-02
(1)本港地区	3-02
(2)鬼脇港区	3-05
4. 鴛泊港の利用状況と問題点・課題	
4.1 本港地区	4-01
(1)北地区	4-01
(2)中央地区	4-05
(3)南地区	4-08
4.2 鬼脇港区	4-10
(1)北地区	4-10
(2)南地区	4-10
5. 現長期構想に取り込むべき課題及び新たな要請	
5.1 整備期間・時期	5-01
(1)本港地区	5-01
(2)鬼脇港区	5-02

5.2	取組内容実現によるメリット	5-04
(1)	本港地区	5-04
(2)	鬼脇港区	5-05
6.	鴛泊港の役割と発展方向	
6.1	本港地区及び鬼脇港区の役割	6-01
(1)	本港地区と鬼脇港区の統合と機能配置	6-01
6.2	今後の発展方向	6-02
(1)	本港地区の発展方向	6-02
(2)	鬼脇港区の発展方向	6-02
6.3	空間利用計画の検討	6-03
(1)	鴛泊港全体ゾーニング	6-03
(2)	鬼脇港区全体ゾーニング	6-03
7.	鴛泊港の将来構想の検討	
7.1	施設配置計画の検討	7-01
(1)	埠頭計画	7-01
(2)	水域施設計画	7-11
(3)	外郭施設計画	7-12
(4)	小型船だまり計画	7-14
(5)	観光交流施設計画	7-15
7.2	将来利用計画図	7-18
(1)	本港地区	7-18
(2)	鬼脇港区	7-18
(3)	車流動線図	7-19
(4)	人流動線図	7-19
7.3	鳥観図	7-20
(1)	鴛泊港(本港地区)全体版	7-21
(2)	鴛泊港(本港地区)フェリーターミナル及び事業用地周辺拡大版	7-22
(3)	鴛泊港(本港地区)屋根付き岸壁拡大版	7-23
(4)	鴛泊港(鬼脇港区)全体版	7-24
8.	事業実施に向けての留意事項の整理	
8.1	全体的な留意事項	8-01
(1)	まちづくりや関連計画との整合性の確保	8-01
(2)	関係者及び各関係機関との調整や合意形成	8-01
(3)	本長期構想の柔軟な見直し	8-01
8.2	個別の取組内容に関する留意事項	8-02

# 第 1 章 業務概要



# 1. 検討概要

## 1.1 検討目的

### 【鴛泊港長期構想】

鴛泊港では、平成 13 年度に、平成 30 年代前半を計画目標年次とした「鴛泊港長期構想」が策定され、その後、平成 22 年度に計画の見直しが行われ、その整備方針のもと、段階的に整備が行われている。



図 1-1-1 鴛泊港長期構想鳥瞰図(平成 22 年度作成)

### 【鴛泊港を取り巻く情勢変化】

その後、利尻～稚内の航空便や RORO 船航路の廃止、フェリーターミナルの改修とボーディングブリッジの新設、みなとオアシスへの登録、利尻富士町新まちづくり創造総合計画や(改訂)鴛泊市街地整備計画マスタープランの策定等、利尻富士町及び鴛泊港を取り巻く社会情勢が変化している。

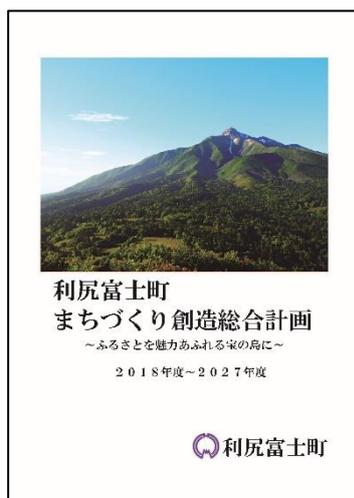


図 1-1-2 利尻富士町まちづくり創造総合計画

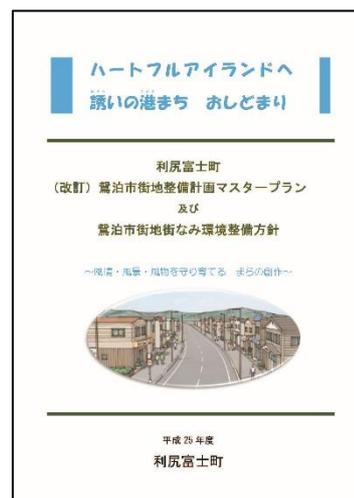


図 1-1-3 鴛泊市街地整備計画マスタープラン

#### **【鴛泊港長期構想検討委員会の目的】**

平成 30 年度前半を計画目標として平成 13 年度に策定し、平成 22 年度にフォローアップを行った港湾長期構想が計画目標年次を経過したことから、利尻富士町及び鴛泊港(本港地区・鬼脇港区)を取り巻く情勢変化や、長期構想の進捗状況、鴛泊港に係る新たな課題・要請等を把握した上で、今後の鴛泊港の利用方策を検討して、令和 27 年度頃を計画目標とした新たな「鴛泊港長期構想」として取りまとめることを目的とする。

## 1.2 検討箇所

本業務の検討箇所を以下に示すとおり、鴛泊港(本港地区)及び鴛泊港(鬼脇港区)とする。



※本調査上の地区名：本調査では地区名称として便宜上、上図に示す地区名を仮称設定する。

図 1-2-1 検討箇所

### 1.3 検討内容

本業務は、まちづくり計画、離島振興、市街地整備計画等の関連計画の経緯、これまでの長期構想等の検討経緯を踏まえ、全2回の委員会にて新たな鴛泊長期構想を取りまとめる。

第1回委員会では、現長期構想策定後の利尻富士町及び鴛泊港の情勢変化と課題、現長期構想の進捗状況を整理した上で、鴛泊港の問題点・課題と鴛泊港の役割と発展方向を示した。

第2回委員会では、第1回委員会における主要意見を踏まえ、鴛泊港で取り組むべき課題と整備時期を整理した上で、鴛泊港の将来構想の検討を取りまとめた。

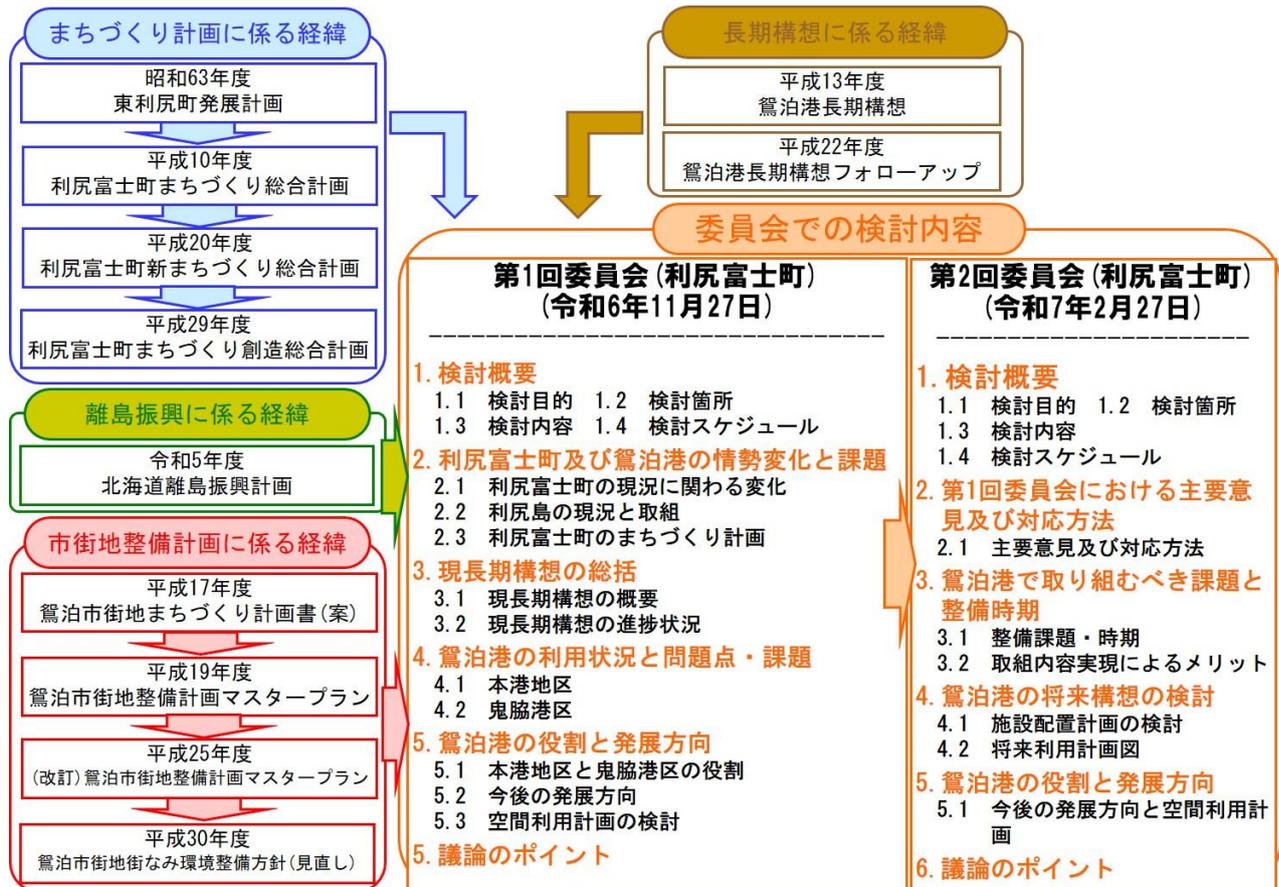


図 1-3-1 検討内容

## 1.4 検討スケジュール

本業務の検討スケジュールを以下に示す。

表 1-4-1 検討スケジュール

		令和6年						令和7年		
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な検討項目	<b>1. 現状分析</b>									
	1.1 長期構想の総括	■								
	1.2 利尻富士町及び鶯泊港の情勢変化の把握		■							
	<b>2. 鶯泊港及び鬼脇港区の役割と発展方向の検討</b>									
	2.1 鶯泊港及び鬼脇港区の役割と発展方向			■						
	2.2 空間利用計画の検討					■				
	<b>3. 鶯泊港及び鬼脇港区の将来構想の検討</b>									
	3.1 施設配置の検討						■			
	3.2 将来構想鳥瞰図の作成									■
<b>【鶯泊港長期構想検討委員会】</b>							<b>【第1回】</b> 11/27		<b>【第2回】</b> 2/27	



## 第2章 利尻富士町及び鴛泊港の情勢変化の整理



## 2.

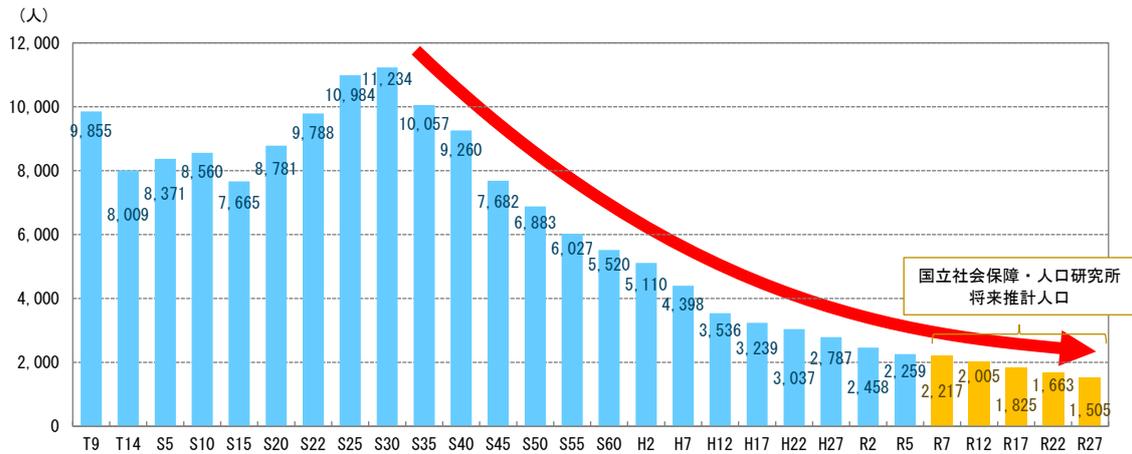
# 利尻富士町及び鴛泊港の情勢変化の整理

### 2.1 利尻富士町の現況に関わる変化

#### (1)人口・世帯数

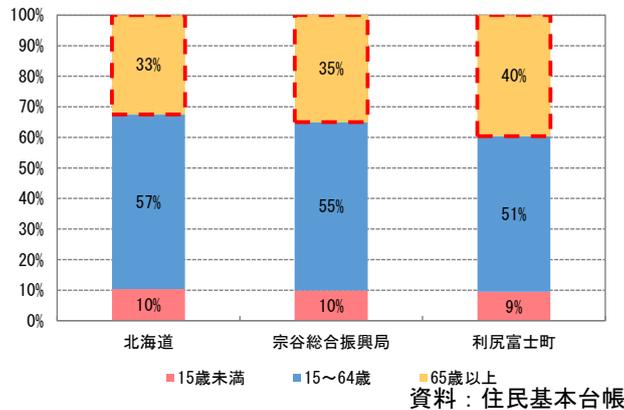
利尻富士町の人口は、令和5年で2,259人と、ピーク時である昭和30年の11,234人の約20%となっており、今後、令和27年には1,505人まで減少すると推計されている。

高齢化率が上昇しており、65歳以上の割合が、北海道や宗谷総合振興局より高く、65歳以上の割合が、昭和30年の5%と比べて令和5年は8倍となる40%となっている。



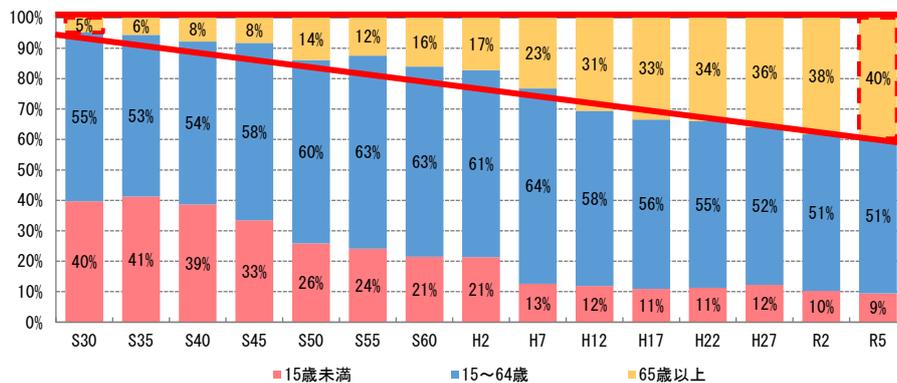
資料：国勢調査(R5は住民基本台帳)  
国立社会保障・人口研究所

図 2-1-1 人口及び世帯数の推移(大正9年～令和5年)、将来推計人口(令和7年～令和27年)



資料：住民基本台帳

図 2-1-2 年齢階層別人口(令和5年)



資料：国勢調査(R5は住民基本台帳)

図 2-1-3 年齢階層別人口(昭和30年～令和5年)

## (2) 交通アクセス

平成 18 年に RORO 船航路が廃止となり、現在、貨物の移出入はほぼフェリーである。  
 フェリーは大型化し、3,500t 級フェリーが 2 隻、4,000t 級フェリーが 1 隻体制で就航している。  
 平成 19 年度に町内に 2 港あった地方港湾(鴛泊港・鬼脇港)を統合している。

表 2-1-1 交通アクセスの変化

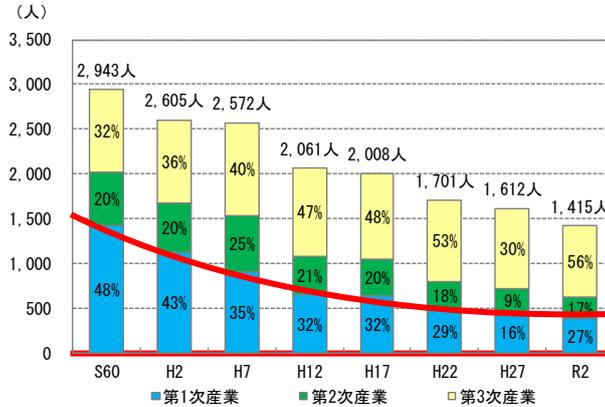
	現長期構想計画策定時(H13)	現長期構想フォローアップ時(H22)	現在の状況(R6)
交通(空港)	○利尻-稚内(19人乗り) 1便/日 通年就航	○利尻-稚内便は廃止(H15)	○利尻-稚内便は廃止中
	○利尻-新千歳 1便/日 6~9月就航	○利尻-新千歳 1便/日 通年就航	○利尻-新千歳(166人乗り) 1便/日 6~9月就航 ○利尻-丘珠(48人乗り) 1便/日 通年就航 ※夏季ダイヤにおいて、GW・お盆・金・土・日・祝の午前便を増便
鴛泊市街地整備計画	—	○鴛泊市街地整備計画策定(H19) ○鴛泊市街地道路整備事業計画(H27完成予定)により直々の拡幅・線形の変更により臨港地区内の漁業施設等の再配置が必要となった。	○鴛泊市街地整備計画マスタープラン及び鴛泊市街地街なみ環境整備方針(H25) ○鴛泊市街地街なみ環境整備方針見直し(H30)
町内の港湾	○鴛泊港と鬼脇港が各々、港湾整備を実施していた。	○鴛泊港と鬼脇港が鴛泊港として港湾統合となった(H19統合)。	○鴛泊港(本港地区)と鴛泊港(鬼脇港区)として一体的に整備が進められている。
	○フェリー就航体制: 5隻体制(2,000t級2隻、3,500t級3隻)	○フェリー就航体制: 3隻体制(3,500t級3隻) H15 ポレアース宗谷(3,578t) H20 サイプリア宗谷(3,555t)	○フェリー就航体制: 3隻体制(3,500t級2隻、4,000t級1隻) H15 ポレアース宗谷(3,578t) H20 サイプリア宗谷(3,555t) R 2 アマポーラ宗谷(4,265t)
	○RORO船が就航、貨物の移出入を行う。 (H18:245便、貨物実績32,931t)	○RORO船航路が廃止(H18.12) 貨物の移出入はほぼフェリーのみ。	○バリアフリー対応来客施設(H26 供用開始) ○みなとアオンス・海の駅(H26 認定登録)

資料：利尻富士町

### (3) 産業構造

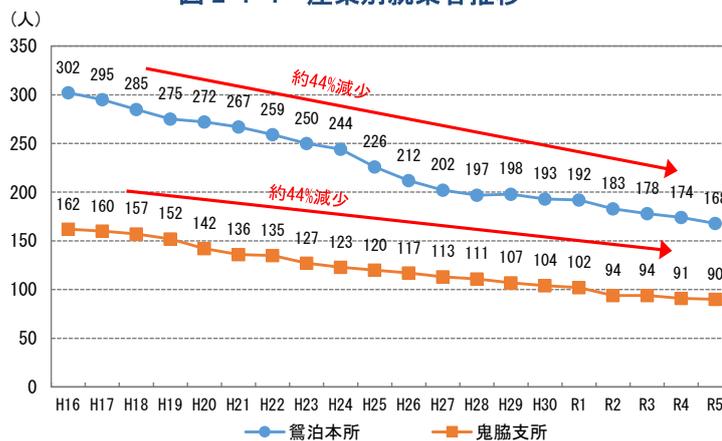
利尻富士町の産業構造として、北海道と比べても第一次産業の割合が27%と高く、その殆どを漁業従事者で占めている。また、第三次産業のうち、飲食業・宿泊業の割合が高く、漁業や建設業とともに、利尻富士町を支える基幹産業となっている。

一方、就業者数は年々減少しており、特に基幹産業である第一次産業の減少が著しい。



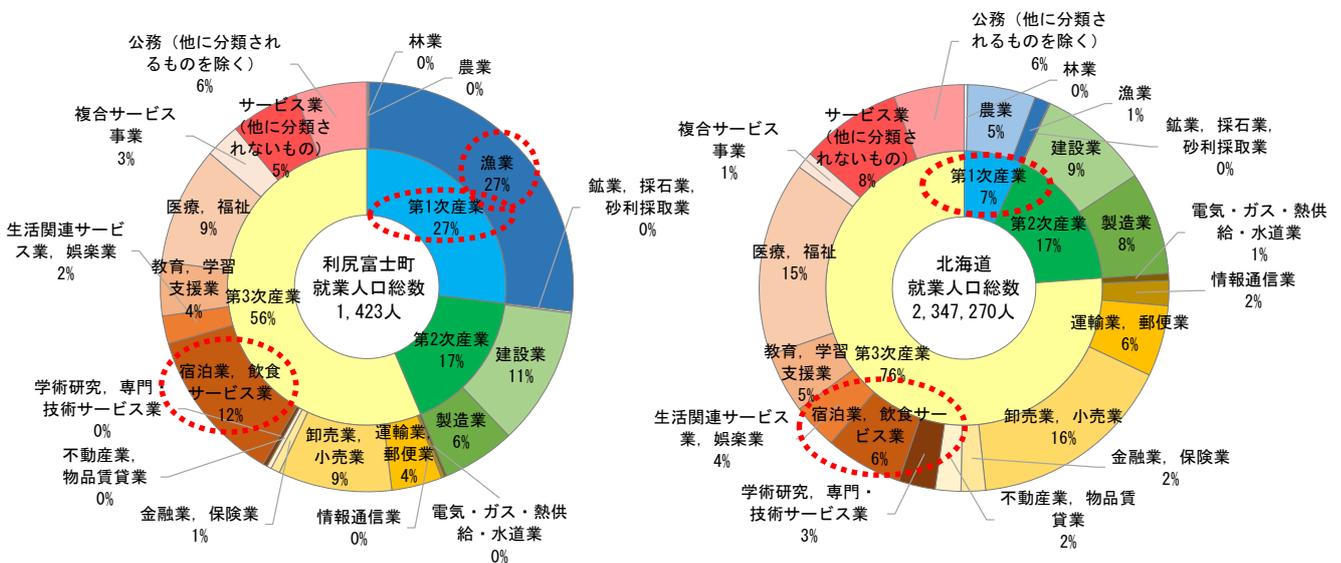
※分類不能の産業は除く 資料：国勢調査

図 2-1-4 産業別就業者推移



資料：利尻富士町の水産

図 2-1-5 漁業者人口の推移



資料：国勢調査 (R2)

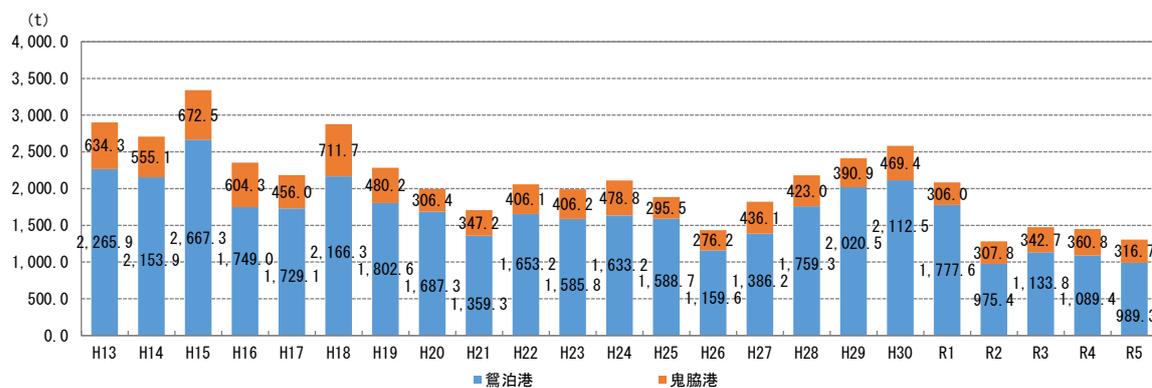
図 2-1-6 産業別人口 (利尻富士町・北海道)

#### (4) 水産業

利尻富士町の令和5年の漁獲量は1,306tと、ピーク時の平成15年(3,340t)に比べ4割程度となっている。一方、漁獲高は、令和2～3年には新型コロナウイルスによる影響で落ち込んだものの、平成13年(約15億円)、平成22年(約17億円)、令和5年(約20億円)と増加傾向である。

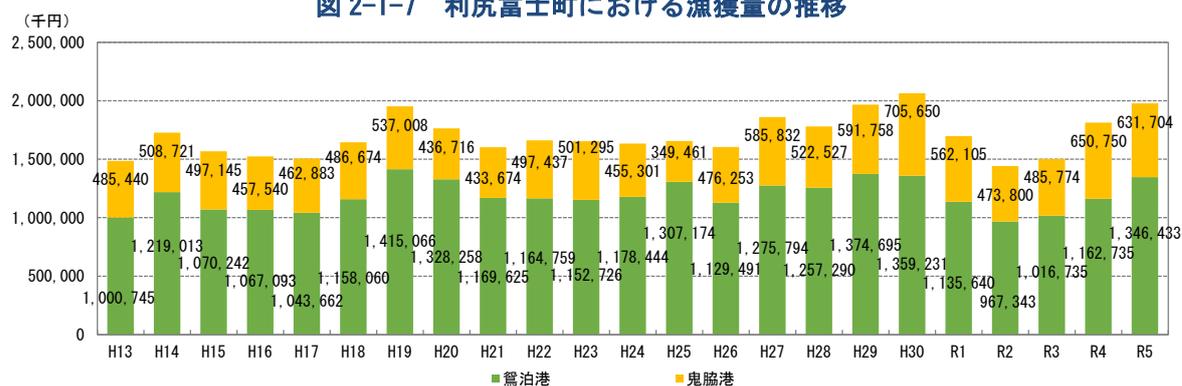
魚種別に見ると、漁獲量は、本港地区がほっけ、たこ、さけ、こんぶ類が、鬼脇港区は、たら、さけ、なまこの生産が上位を占めている。

漁獲高は、本港地区と鬼脇港区ともに、うに類、こんぶ類、たこ、なまこが上位となっている。



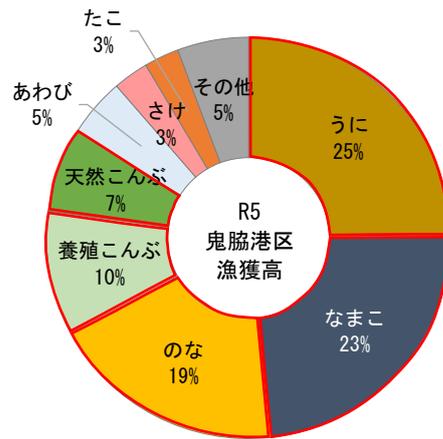
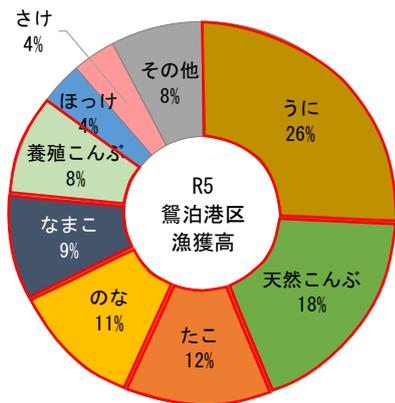
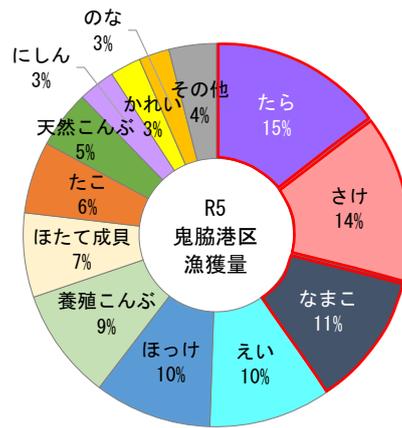
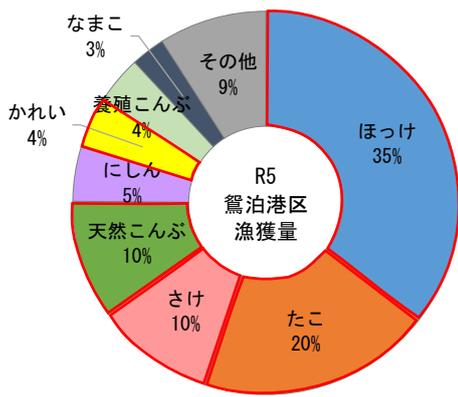
資料：利尻富士町

図 2-1-7 利尻富士町における漁獲量の推移



資料：利尻富士町

図 2-1-8 利尻富士町における漁獲生産高の推移



資料：利尻富士町の水産  
 図 2-1-9 利尻富士町魚種別生産量・生産高

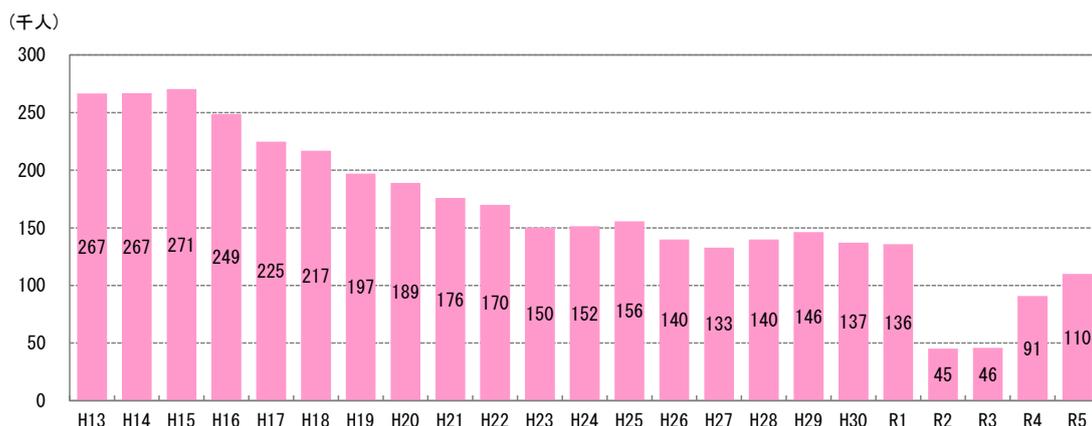
## (5) 観光

利尻富士町は「利尻礼文サロベツ国立公園」区域にあり、優れた自然環境と新鮮な海の幸、日本百選に選定された名山、名水、森林などの観光資源に恵まれている。

観光入込客数は、国立公園の指定や離島ブームを背景にピーク時の平成15年は271千人まで増加したが、その後減少が続き、令和5年はピーク時の約4割の110千人となっている。

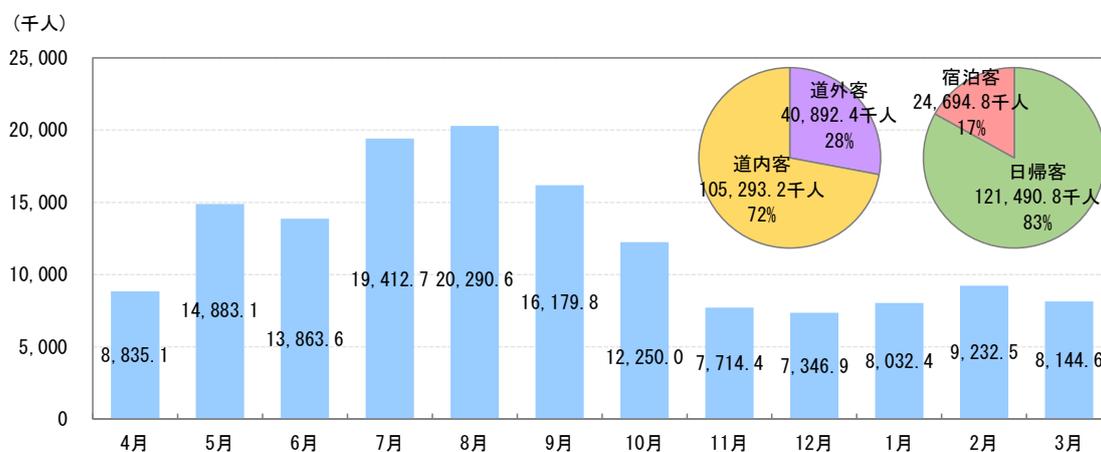
観光客の特徴は、6～9月の夏季集中型で、北海道全体と比べても、その傾向が高い。

道内客の割合が75%と、北海道全体と同様、道外客に比べて道内客が高い傾向だが、宿泊客の割合が約5割と、北海道全体の約2割に比べ高くなっている。



資料：北海道観光入込客数調査報告書

図 2-1-10 年度別観光客入込客数過去実績 (利尻富士町)



資料：北海道観光入込客数調査報告書

図 2-1-11 観光入込客割合 (道外・道内) (日帰り客・宿泊客) (北海道全体)

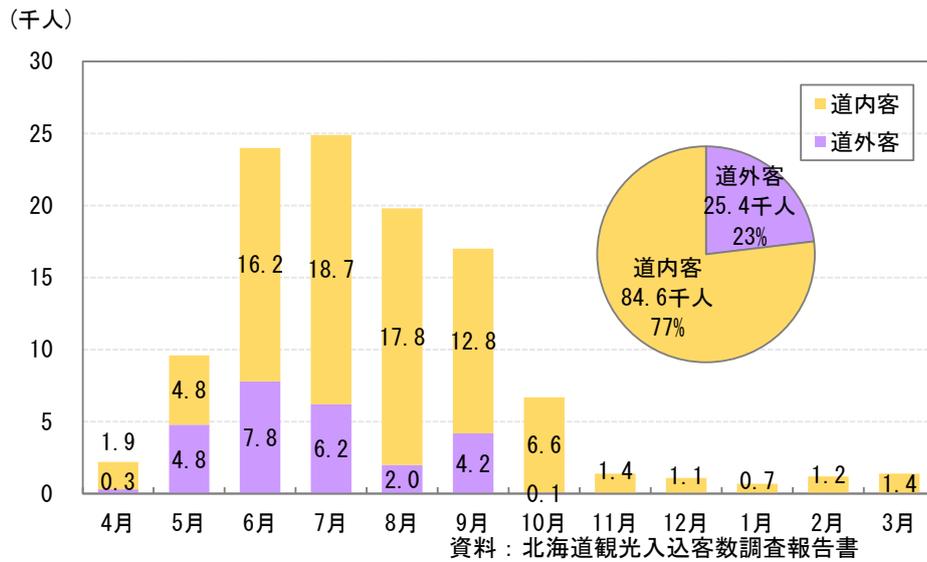


図 2-1-12 R5 年度 月別観光入込客(道外客・道内客)(利尻富士町)

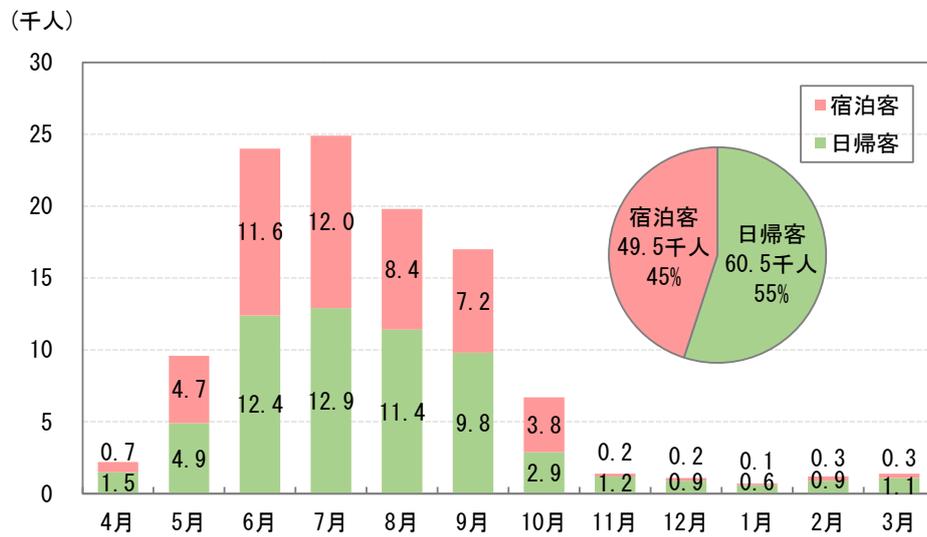


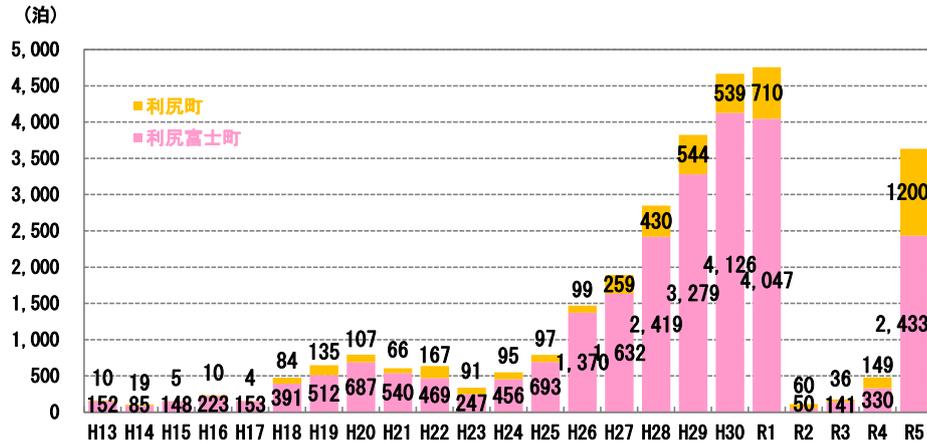
図 2-1-13 R5 年度 月別観光入込客(日帰り客・宿泊客)(利尻富士町)

利尻富士町における外国人観光客延宿泊数は平成 26 年頃から大幅な増加傾向が続き、新型コロナウイルスの影響で令和 2～4 年は大幅に減少したものの、令和 5 年は回復傾向が確認され、今後の増加も期待される。

令和 5 年における国別宿泊客数はアジア圏の国で約 7 割を占めている。

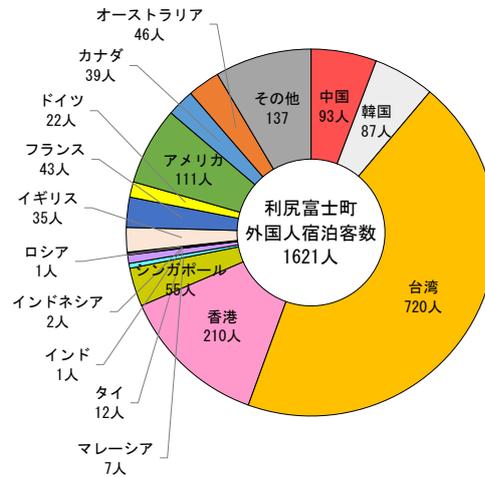
月別観光客数について、北海道全体では冬季に多いが、利尻富士町では日本人・外国人ともに 5～9 月に集中している。

国別の 1 人あたりの平均宿泊日数は、アジア圏に比べて欧米や豪州が多い傾向にある。



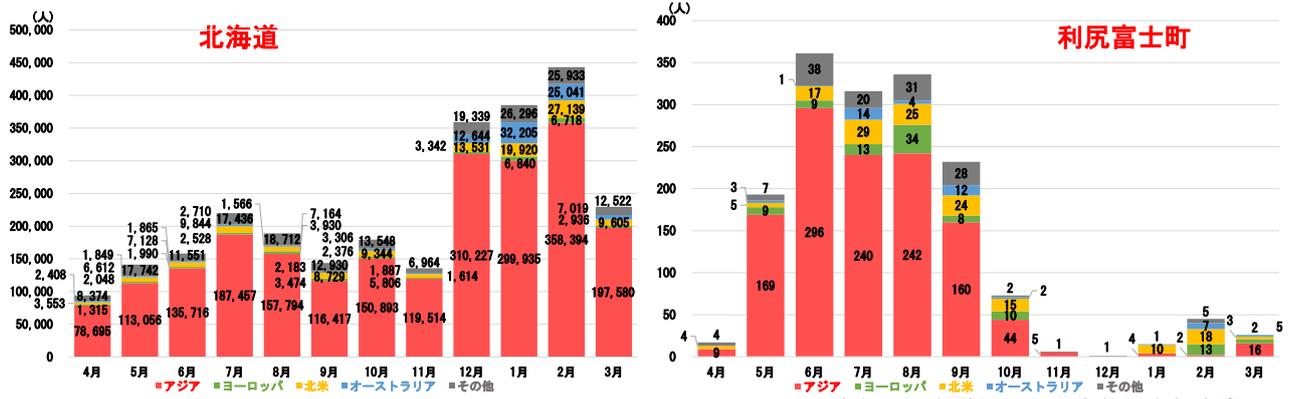
資料：北海道観光入込客数調査報告書

図 2-1-14 年度別外国人観光客延宿泊数過去実績



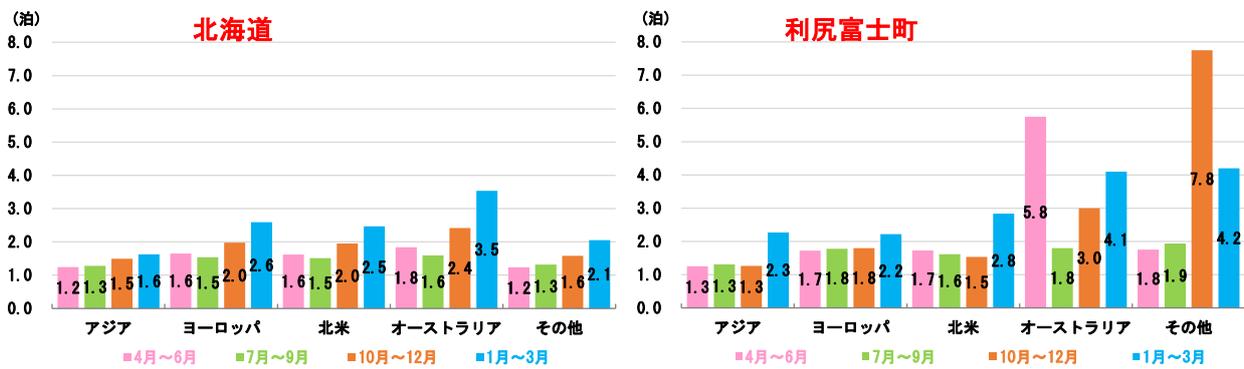
資料：北海道観光入込客数調査報告書

図 2-1-15 国別外国人観光客割合(利尻富士町)(令和 5 年度)



資料：北海道観光入込客数調査報告書

図 2-1-16 外国人月別宿泊人数(令和 5 年度)



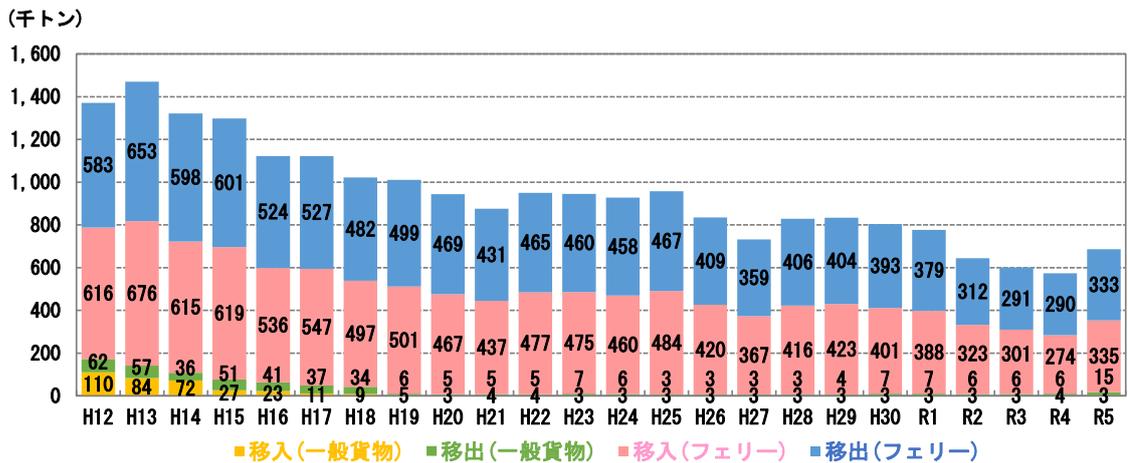
資料：北海道観光入込客数調査報告書

図 2-1-17 外国人地域別 1 人あたり平均宿泊日数(令和 5 年度)

(6) 港湾取扱貨物量

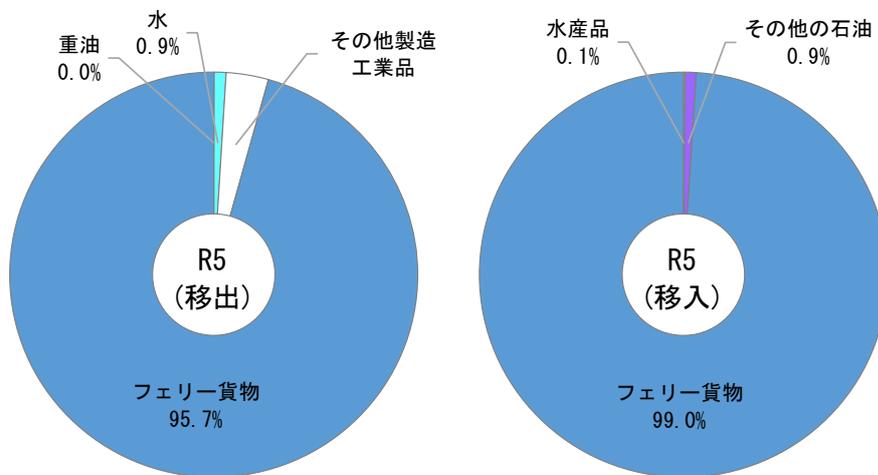
本港地区の取扱貨物量は、ほぼフェリー貨物だが、一般貨物ともに年々減少し、令和5年はピーク時の平成13年の約5割となっている。取扱品目は移入でフェリー、石油、水産品、移出でフェリー、漁礁ブロック、水等となっている。

鬼脇港区の取扱貨物量は、年度で増減があるものの総じて減少傾向で、令和5年は、ピーク時の平成13年の約8%となっている。取扱品目は移入で砂利・砂、水産品、移出で漁礁ブロック、石材等となっている。



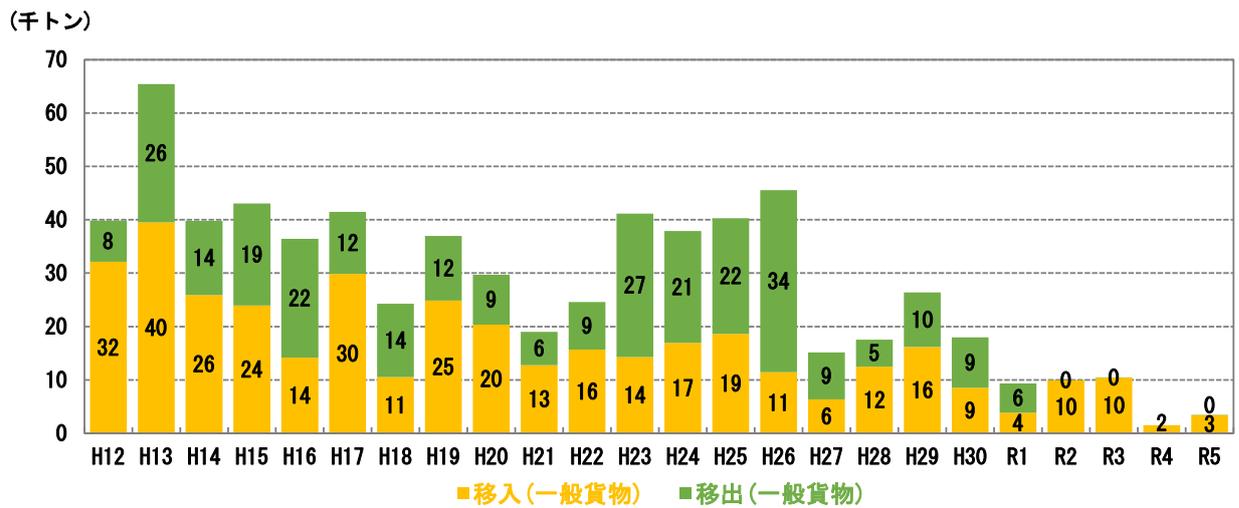
資料：利尻富士町

図 2-1-18 移出入別港湾取扱量推移(本港地区)



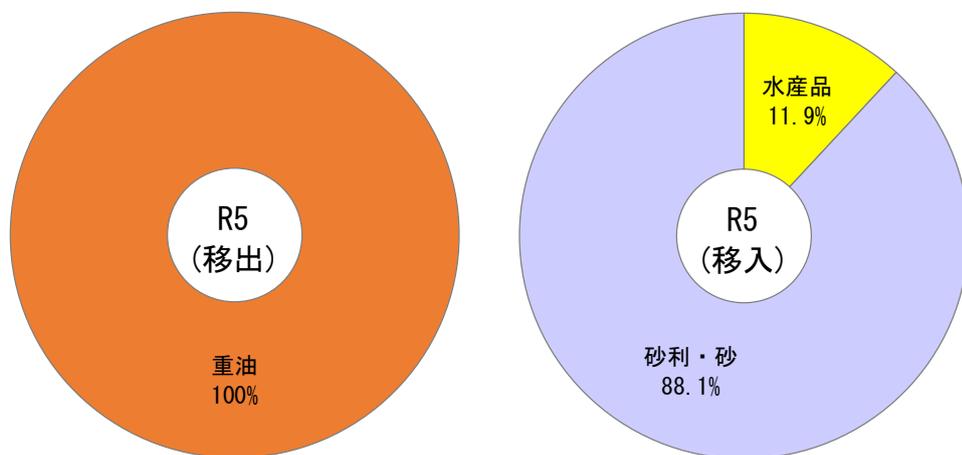
資料：利尻富士町

図 2-1-19 移出入別品目別港湾取扱量(本港地区)(令和5年度)



資料：利尻富士町

図 2-1-20 移出入別港湾取扱量推移(鬼脇港区)



資料：利尻富士町

図 2-1-21 移出入別品目別港湾取扱量(鬼脇港区)(令和5年度)

## 2.2 利尻島の現況と取組

### (1) 観光関連

#### 1) 観光施設・名所

利尻島内の観光施設・名所は全体的に自然景観のスポットが多く、開放期間は観光客が多い5月～10月末の夏季期間中となっている。

通年で開放している施設は、温泉や神社等、地域住民の利用が多い施設となっている。

近年では個人観光客の増加に伴い、体験型メニュー(サイクリング・登山など)の需要が増加している。

表 2-2-1 観光名所一覧

エリア	観光名所	開放期間	エリア	観光名所	開放期間	
鷺泊	①ペシ岬	5/1～10/31	鬼脇	⑪利尻富士郷土資料館	5/1～10/31	
	②姫沼			⑫南浜湿原		
	③野塚展望台		5/1～10/15	沓形	⑬カムイテラス	4/1～11月上旬
	④富士野園地				⑭神居海岸パーク	6/1～9/30
	⑤夕日ヶ丘展望台	⑮天望山スキー場			12/1～3/31	
	⑥カルチャーセンター&りっぷ館	⑯北見富士神社			通年	
	⑦利尻富士温泉保養施設		⑰沓形岬公園			
	⑧利尻山神社	5/1～10/31	仙法志	⑱仙法志御崎公園	5/1～10/31	
鬼脇	⑨オタトマリ沼			⑲利尻町立博物館	通年	
	⑩白い恋人の丘					⑳北のいつくしま弁天宮

資料：利尻島観光ポータルサイト



資料：利尻富士町

図 2-2-1 観光名所位置図

## 2) 宿泊施設

現在、利尻島内の宿泊施設(ホテル、旅館、ペンション、キャンプ場)は約40軒となっている。

営業期間は、通年で営業している施設は約半数で、観光客向けの大型施設は春から夏季期間までの観光シーズン限定の営業となっている。

地区別の収容人数について、働き手の確保等の課題はあるものの、通年では、駕泊地区が約240名(観光期は約1,200名)、杓形地区が約320名(観光期は約590名)となっている。

大型施設は宿泊予約サイトに登録しているが、未登録の施設も多く、電話等による予約業務に手間が掛かるほか、予約を取りこぼしている可能性も考えられる。

表 2-2-2 宿泊施設一覧

エリア	No	施設名	営業期間	収容人数	食事提供	エリア	No	施設名	営業期間	収容人数	食事提供
駕泊	1	旅館 なり田	通年	10	有	駕泊	21	夕陽館	通年	24	有
	2	旅館 雪国	通年	55	有		22	利尻ぐりーんひるinn	3月~10月上旬	34	有
	3	旅館 最北亭	6月~8月	67	有		23	ホテル雲丹御殿	6月~9月	44	有
	4	旅館 大関	4月~10月	15	有		24	利尻北麓野営場	5月15日~10月15日	-	無
	5	利尻うみねこゲストハウス	5月~10月中旬	25	有	鬼脇	25	旅館 富士	通年	26	無
	6	ペンション ヘラさんの家	5月~10月	28	有		26	プチホテル川一	通年	22	有
	7	利尻富士観光ホテル	3月~10月	130	有		27	沼浦キャンプ場	6月~9月	-	無
	8	利尻マリンホテル	3月~10月	161	有	杓形	28	中原旅館	通年	40	有
	9	利尻山荘 花りしり	通年	14	有		29	Hostel & Bar クツカクタ	通年	5	有
	10	さいとう旅館	通年	20	有		30	正部川旅館	通年	35	有
	11	マルゼンペンション レラモシリ	通年	28	有		31	民宿くつがた荘	通年	20	無
	12	ペンション群林風	通年	35	有		32	民宿なごり荘	5月中旬~12月	20	無
	13	旅番屋	通年	26	有		33	ホテル利尻	通年	185	有
	14	田中家ひなげし館	5月~10月	60	有		34	アイランドインリシリ	6月~9月	203	有
	15	北国グランドホテル	4月~10月	201	有		35	杓形岬公園キャンプ場	5月~10月	-	無
	16	ホテル あや瀬	4月~10月	184	有		36	びやこ荘あだち	通年	15	有
	17	花コテージ北国	6月~10月	16	有		37	ヴィラカムイ	通年	4	有
	18	ファミリー キャンプ場ゆ〜に	5月~10月	-	無		38	ゲストハウス1721	通年	19	無
	19	しまのやど かむいりしり	通年	27	無		39	中原旅館	5月~10月	40	有
	20	お宿マルゼン	4月~10月	21	無		仙法志	40	島宿はまだ	5月~10月	20

資料：利尻島観光ポータルサイト

### 3) 飲食店・土産店

昼食に大人数が入店できる店舗は島内3箇所(駕泊、鬼脇、杓形)のみで、昼食場所が確保できず団体旅行ツアーを組めないことがある。また、当該店舗は、夏季は団体客のみで個人客は対応していないため、個人で昼食を取れる飲食店も限られる。夕食は、町内の飲食店は夕方に閉店する店が多く、また、居酒屋も少ないため、個人客が入店できず食事難民になる実態がある。

表 2-2-3 飲食・土産店一覧

エリア	No	店名	ジャンル	営業時間	営業期間	所要時間 (本港地区から)
駕泊	1	さとう食堂	食堂	9～16時	4月下旬～10月下旬	徒歩1分
	2	磯焼亭	海鮮料理	10～17時	4～10月	徒歩1分
	3	食堂 丸善	海鮮料理・カレー	11～14時	通年	徒歩1分
	4	TSUKI CAFE	カフェ・レストラン	11～15時	通年	徒歩1分
	5	グランスポット	カレー・ラーメン	11～19時(木金土:24時)	通年	徒歩10分
	6	ポルトコーヒー	カフェ	9～16時	不定休	徒歩1分
	7	和洋創咲いろは	海鮮料理、居酒屋	11～19時	通年	徒歩10分
	8	名取本店	食堂	11～14時	通年	徒歩11分
	9	御食事処さくらば	食堂	11～14時	通年	徒歩10分
	10	丸田商店	土産屋	8～21時	不明	徒歩1分
	11	利尻漁業協同組合ストアー	土産屋	8時30分～17時	土、日曜定休	徒歩2分
	12	土産処 利尻島～SHIEN～	土産屋	13時30分～16時30分	月曜定休	車10分
	13	笑う門	中華料理	11～14時、17～20時	水曜定休	徒歩10分
	14	力丸	居酒屋	18～23時	第1、第2日曜定休	徒歩15分
	15	こぶし	居酒屋	18時30分～22時	月曜定休	徒歩10分
	16	おだしのりせん	土産屋	6～17時	5～9月	徒歩7分
	17	川村商店	土産屋	不明	不明	徒歩1分
鬼脇	18	利尻亀一	海鮮料理、土産屋	9～17時	4月中旬～10月下旬	車25分
	19	長生堂寺嶋菓子舗	ケーキ・和菓子	7～20時	年中無休	車20分
	20	利尻富士町レストハウス	ジェラート・海鮮料理	8～17時	4月末～10月末	車25分
	21	味彩 川一	食堂	11～14時	通年	車20分
	22	呑喰処うえ田	居酒屋	18～21時	日曜定休	車25分
杓形	23	利尻ラーメン 味楽	ラーメン	11時30分～14時	通年	車20分
	24	大漁亭	海鮮料理	11～20時	通年	車20分
	25	Cafe自休自足りしりに恋し店	カフェ	10～16時	通年	車20分
	26	勿忘草	中華	11～14時、17～21時	通年	車20分
	27	凡天	そば・海鮮料理	11～14時、17～21時	通年	車20分
	28	UNBALLON	スープカレー	11～15時、18～22時	通年	車20分
	29	利尻ふる里食堂	海鮮料理・焼肉	11～13時30分、17～21時	通年	車20分
	30	Cafe&Bar クツカンタ	カフェ・カレー	18時～深夜営業	通年	車20分
	31	麺夢 鍋ちゃん	ラーメン	11～13時、17～22時	通年	車20分
	32	北利ん道	カフェ	10～16時	不定休	車20分
	33	米田商店 本店	海産物直売店	8時30分～18時	通年	車20分
	34	ミルピス商店	飲料	7～20時	年中無休	車15分
	35	味処 なぎさ	居酒屋	18～23時	不定休	車20分
	36	食堂 かもめ	食堂	11時30分～14時	不定休	車20分
	37	常寿司	寿司	18～21時	不定休	車20分
	38	居酒屋 かもめ 本店	居酒屋	18～20時30分	不定休	車20分
	39	喫茶ウィガ	喫茶店	11時30分～23時	不定休	車20分
仙法志	40	利尻漁業協同組合直売店	利尻昆布・生うに	8～17時	5～10月	車30分
	41	マルキ食堂	麺等	11時30分～	通年	車30分
	42	利尻観光商事	土産屋	8時30分～17時(6～9月)、9～17時(5、10月)	5月下旬～10月上旬	車30分
	43	御崎物産	土産屋	不明	不明	車35分
	44	畑宮食品	土産屋(昆布)	9～17時	5～10月	車35分

資料：利尻島観光ポータルサイト



資料：利尻富士町

図 2-2-2 左:利尻亀一 中:利尻富士町レストハウス 右:北利ん道「愛す利尻山」

## (2) 二次交通

### 1) バス・ハイヤー・レンタカー

利尻島内の二次交通網には、定期観光バス、ハイヤー、レンタカー等がある。富士ハイヤー(株)では、運転手が観光案内をしながら島内一周を行うサービスがある。

観光バスとは別に通常の路線バスでも島内を一周することは可能だが、一日の便数が6便(約2時間に1本)しかないため、観光利用には利便性が高くない。

表 2-2-3 観光バスの概要

会社名	宗谷バス(株)
所要時間・料金	3時間10分 ・ 大人 3,500円 小児2,000円
コース名	利尻島定期観光バス <b>利尻A(秀峰利尻富士めぐり)</b>
行程	鷺泊フェリーターミナル～姫沼～野塚展望台(車窓)～オタマリ沼～仙法志御崎公園～利尻空港(途中下車可能)～鷺泊フェリーターミナル
出発・到着時間	5月3日～5月6日・5月20日～5月31日 <b>8:35発(鷺泊FT) → 11:45着(鷺泊FT)</b> (杓形利尻営業所7:55発)(利尻空港途中下車11:30着)
	6月1日～9月30日 <b>9:05発(鷺泊FT) → 12:15着(鷺泊FT)</b> (杓形利尻営業所8:20発)(利尻空港途中下車12:00着)
コース名	利尻島定期観光バス <b>利尻B(大自然利尻めぐり)</b>
行程	杓形フェリーターミナル～神居海岸パーク～※利尻町立博物館(6/1～7/31限定)～仙法志御崎公園～オタマリ沼～※利尻町郷土資料館(8/1～9/30限定)～鷺泊フェリーターミナル
出発・到着時間	6月1日～8月19日、9月5日～9月30日 <b>13:40発(杓形FT) → 16:55着(鷺泊FT)</b>

資料：宗谷バス(株)HP

表 2-2-4 レンタカーの概要

会社名	エリア	料金 ほか
ニッポンレンタカー	鷺泊	<軽自動車> ・3時間 6,000円前後～ ・4時間 7,000円前後～ ・5時間 8,000円前後～ ※島内一周はおよそ3時間
トヨタレンタカー		
まごころレンタカー		
利尻レンタカー		
マルゼンレンタカー		
かめやレンタカー	杓形	

表 2-2-5 ハイヤーの概要

会社名	台数	エリア	備考
富士ハイヤー(株)	8台	利尻富士町鷺泊字富士野3-5	ジャンボ有り
りしりハイヤー(株)	4台	利尻町杓形字本町	
【観光ハイヤー】 例:富士ハイヤー(株)	・島内観光の場合は時間での借り上げ ・島内一周and/orリクエストベース ・3時間:25,000円前後～		

表 2-2-6 カーシェアリングサービスの概要

【カーシェアサービス】 例:タイムズカー	・利尻富士観光ホテル駐車場(利尻富士町鷺泊港町46) ・利尻島ゲストハウス1721(利尻町杓形富士見町74) ・夏季限定(11～4月は一時閉鎖)
-------------------------	--

資料：タイムズモビリティ(株)HP



資料：利尻富士町

図 2-2-3 左：フェリーターミナル前のレンタカー店 右：定期観光バス（宗谷バス(株)）



資料：タイムズモビリティ(株)HP

図 2-2-4 カーシェアリングサービス(利尻富士観光ホテル駐車場)

## 2) その他

二次交通の他にも、利尻島内観光をするためのレンタルサイクルのサービスを行っている。また、旅館「雪国」では自転車の他にレンタルスクーターのサービスを行っている。

利尻島で設定しているサイクリングロード上の一部施設には空気入れや工具が設置されているサイクルスタンドがある。設置箇所については鴛泊周辺の施設に集中している。

表 2-2-7 レンタサイクルの現状

RISHIRI ACTIVITY		時間レンタル(2時間)	1日レンタル
レンタル料金 (税込み)	クロスバイク マウンテンバイク	¥3,000円/2時間	¥3,500円 ※2日目は5,500円
	Eバイク	¥4,000円/2時間	¥6,500円 ※2日目はレンタル不可
	電動アシスト自転車	¥4,000円/2時間	¥5,500円 ※2日目はレンタル不可
利用可能時間	RISHIRI ACTIVITY事務所：8時00分～18時00分 配送サービス：8時00分～18時00分 ※上記営業時間以外も対応可能 (予約時に御希望の時間を伝える)		

資料：RISHIRI ACTIVITY HP

旅館「雪国」雪国レンタル		時間レンタル	1日レンタル
レンタル料金 (税込み)	マウンテンバイク：10台 ママチャリ：7台 子供用自転車：2台	¥400円/1時間	¥1,500円/1日
	スクーター(50cc)：15台	¥1,000円/1時間	¥3,000円/1日
	スクーター(100cc)：2台	¥2,000円/1時間	¥5,000円/1日
利用可能時間	雪国レンタル：8時00分～17時00分 ※配送サービスは行っていない ※電話予約不可のため現地で直接レンタルする ※自転車：500円、スクーター：1,000円で翌朝の返却が可能		



### (3) 利尻島内の年間イベント

毎年、継続して行われている利尻島の祭り・イベントは集客数が多く、島全体をコースとした「利尻島一周悠遊覧人G(ゆうゆうらんになぐ)」や「利尻島一周ふれあいサイクリング」は、島外からの観光客の入り込み客数に貢献している。

表 2-2-8 利尻島内のイベント一覧

イベント	エリア	開催時期	概要
①利尻島一周悠遊覧人G	利尻島全域	6月・第1日曜日	利尻の景色を見ながら、一周約60kmの島を10時間以内で一周するマラソンレース。島内外から参加者が多い。
②仙法志神社例大祭	仙法志	6月21日	本祭の前後は宵宮と後祭があり、露店が並ぶ。松前神楽、四ヶ散米舞は伝統芸能として传承されている。
③北見富士神社例大祭	杓形	6月25日	松前登城奴行列、四ヶ散米舞は、伝統芸能として传承されている。行列には猿田彦(天狗)も現れ、露店も並ぶ。
④北見神社例大祭	鬼脇	6月28日	毎年、6月28日に鬼脇の北見神社、7月1日に鴛泊の利尻神社で祭礼が行われる。祭日の前後には宵宮祭と後祭りがある。
⑤利尻山神社例大祭	鴛泊	7月1日	
⑥みなとピアガーデン	鴛泊	7月中旬	鴛泊フェリーターミナル近くの「緑地公園」で開催され、焼ウニ・タコ・ホタテなどが味わえる露店や、ウニ採りを体験できる。
⑦北海道まつり(鬼脇会場)	鬼脇	7月・第4日曜日	鬼脇地区ではボートレースや花火大会を開催しており、島の海産物を味わえる屋台が出店されている。
⑧北海道まつり(鴛泊会場)	鴛泊	8月3日	鴛泊地区ではメインストリートを歩行者天国にし、ウニ丼や魚介類の焼き物屋台や特産物の格安販売などを行う。
⑨利尻浮島まつり	杓形/仙法志	8月5日～6日	杓形・仙法志で開催。名物「浮島音頭」や、数多の露店が並ぶ。
⑩うにうにフェスティバル	鴛泊	8月11日	利尻特産の「ウニ」の出店や、「ウニ早食い競争」が開催される。鴛泊港からスタートして自転車道と一般道道を結び、約60kmのコースを一周する。島内外からの参加者が多い(約100人)。
⑪利尻島一周ふれあいサイクリング	利尻島全域	8月・第4日曜日	
⑫りりり寒飲まつり	鴛泊	2月上旬	タイヤ引きタイムレース等の老若男女が参加できるアトラクション、ウニめし丼やお寿司などの飲食コーナーが並ぶ。
⑬雪ん子広場	鬼脇	2月上旬	餅まきや雪中パークゴルフ大会、漬物石カーリング等のアトラクションや飲食コーナーも並ぶ。

※青色したイベントは鴛泊港(本港地区、鬼脇港区)を、赤着色したイベントは杓形港、仙法志漁港会場とするイベント

資料：利尻富士町 HP

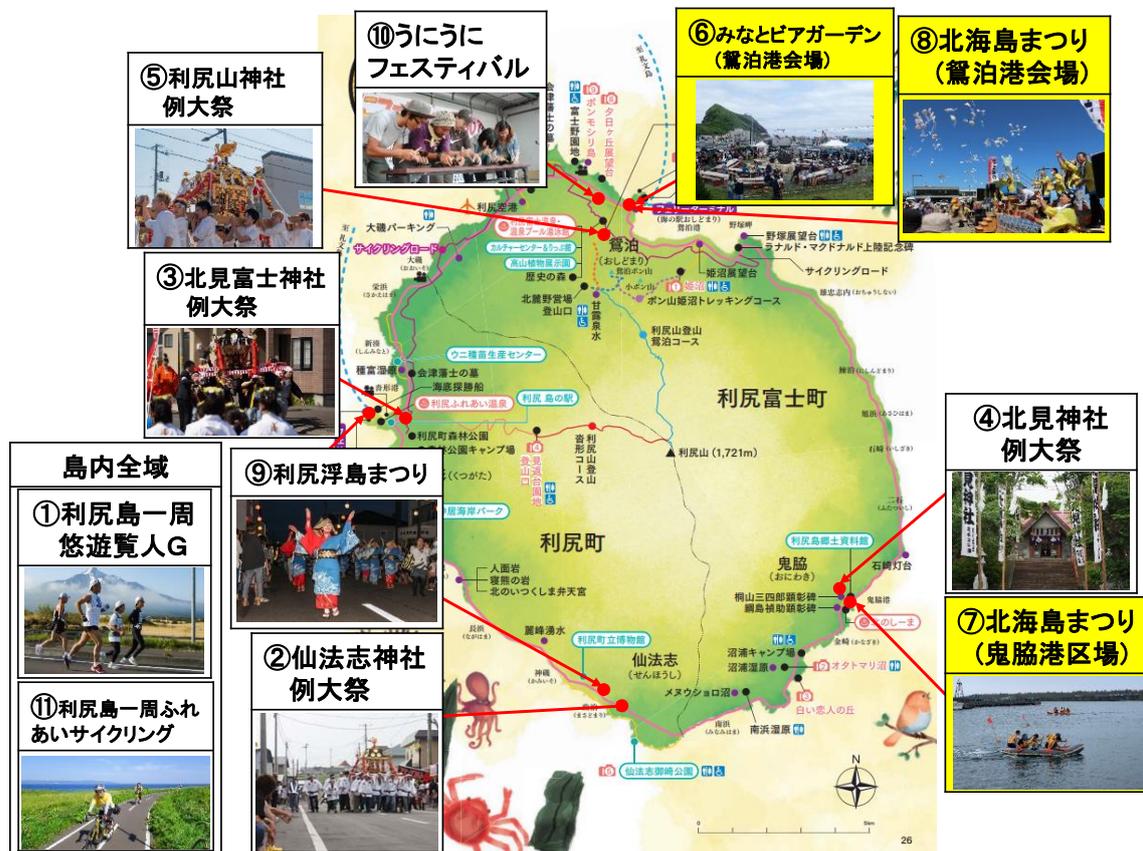


図 2-2-6 イベント会場位置図

#### (4) アクティビティ

利尻島では、日本百名山である利尻山の登山ツアー、本港地区からカヤックに乗って海を散策するシーカヤックツアー、サーフボードに乗りパドルで海を漕ぎ進む SUP（スタンドアップパドル）ツアー等、夏季に多くのアクティビティを体験できる。

冬季はガイドの案内で雪に覆われた利尻山を登り、スキーやスノーボードでゲレンデを滑走するバックカントリーツアーがある。

表 2-2-9 利尻島内のガイドサービス一覧

会社名	利尻自然ガイドサービス
コース①	利尻山登山(鷺泊往復コース)
所要時間	約 11～12時間
料金	1名:46,000円 2名:24,000円 3名:19,800円 4名:16,500円 5～7名:14,300円 ※個人ツアーが希望の場合は追加で11,000円必要
行程	鷺泊北麓野営場集合(午前4時)～利尻山4合目(朝食)～利尻山8合目～利尻山山頂(昼食)～鷺泊北麓野営場(午後16時)
コース②	利尻島シーカヤックツアー
所要時間	約 3時間(カヤックの漕ぎ方や注意事項の説明時間を含む)
料金	大人:11,000円 小学生:6,600円 幼児:3,300円
行程	鷺泊港フェリーターミナル集合(午前8時30分)～鷺泊港フェリーターミナル(カヤックの漕ぎ方や注意事項の説明)～ツアー開始～鷺泊港フェリーターミナル解散(午後13時30分) ※個人ツアーが希望の場合は追加で11,000円必要
コース③	利尻山バックカントリー
所要時間	約 6～8時間
料金	1名:38,500円 2名:20,900円 3名以上:13,200円
行程	マルゼンペンション レラモシリ集合～利尻山出発(午前8時)～ツアー開始～マルゼンペンション レラモシリ解散(午後14時～16時)

資料：利尻自然ガイドサービス HP

会社名	RISHIRI ACTIVITY
コース①	SUPツアー
所要時間	約 2時間30分～3時間
料金	1名:10,000円 島民:6,000円
行程	鷺泊北麓野営場集合(午前4時)～利尻山4合目(朝食)～利尻山8合目～ツアー開始～鷺泊北麓野営場

資料：RISHIRI ACTIVITY HP



資料：利尻富士町 HP

図 2-2-7 左上:利尻山登山 右上:利尻島シーカヤックツアー  
左下:利尻山バックカントリー 右下:SUP ツアー

## (5) サイクリング

利尻島では、サイクリング愛好者の交流や島内活性化を目的に毎年8月、「利尻島一周ふれあいサイクリング」を開催し、住民をはじめ道内外から約100名が参加している。

利尻富士町では、自転車ですべて島を巡る人がひと休みできる「利尻サイクルオアシス」を島内約30カ所に開設し、空気入れや工具、トイレ等を用意するなどの環境整備を進めている。

将来的には、ナショナルサイクルートの指定に伴う国内外へのPRにより、サイクルツーリズムの推進による地域活性化が期待される。

利尻島では、電動アシスト付きレンタル自転車(Eバイク)により不整地や森林・坂道を散策し、食事や文化・歴史も体験できるサイクリングツアーを提供している。



図 2-2-8 利尻島サイクリングコース



図 2-2-9 左:利尻島一周ふれあいサイクリング

右:電動アシスト付きレンタル自転車(Eバイク)によるサイクリングツアー



図 2-2-10 港湾上屋を改築した複合施設(尾道市)

## (6) 水産業関連

利尻富士町及び鶯泊昆布養殖部会では、利尻昆布ファンの増加と消費の拡大・付加価値向上を図る「昆布オーナー事業」を令和4年度から実施している。令和5年度は応募多数のため抽選により176名(道内108名、道外68名)で実施、株主昆布干体験で5組9名を受入れた。

利尻富士町教育委員会、利尻漁協、鶯泊昆布養殖部会では、ふるさと教育の一環として小中学生に養殖昆布の昆布集め体験や出前授業を10年以上前から継続して実施している。

利尻地域漁業就業者支援対策協議会では研修生の受入支援や、無料の漁業体験研修「漁師道」の実施等を行っており、漁師道等を通し、約40名が漁業者となっている。

利尻富士町では、漁業の担い手支援として漁業後継者に対し磯船1隻又は報償金50万円の贈呈のほか、各種研修参加報奨金や免許取得報償金、家賃補助金等の支援を行っている。



資料：利尻富士町 HP

図 2-2-11 左: 昆布オーナー事業 中: 出前授業の様子 右: 漁業後継者支援「漁師道」

利尻町沓形の「神居海岸パーク」では、地元の漁師と同じ方法、道具で行うウニ取り体験、利尻昆布を加工してお土産づくり体験、施設内にある浅瀬でのカニ釣り体験等ができる。また、「島の駅利尻海藻の里」では海藻を使って押し葉を作り、ハガキ作成等の体験ができる。

利尻島では、本格的に漁師になるため最大3年間の研修を受けられる「漁業人材育成総合支援事業」を設けている。また、2018年には地元の漁師、漁協、行政関係者によって、漁業の活性化やPRを目的とした団体「NORTH FLAGGERS」を設立した。



資料：利尻富士町 HP

図 2-2-12 位置図



資料：利尻富士町 HP

図 2-2-13 左上：ウニ採り体験 右上：海藻押し葉クラフト体験  
左下：ウニ採り体験 右下：昆布お土産づくり体験

## (7) みなとオアシス

鴛泊港(本港地区)は、平成26年1月、道内9番目となる「みなとオアシスりしりとう・おしどまり」に登録されている。利尻島の玄関口であるみなとエリアを中心に、恵まれた景観等を活用し、イベント実施や情報発信等により賑わいの創出、交流・ふれあいの拠点づくりを進めている。

平成26年3月には、道内7番目となる「りしりとう・おしどまり海の駅」に登録され、離島と都市を結ぶ交流活動の拠点として、漁船用係留施設を有効活用して、鴛泊港(本港地区)に寄港するプレジャーボートに対しビジターバースを提供している。



資料：北海道開発局 HP

図 2-2-14 みなとオアシス りしりとう・おしどまり エリアマップ



資料：利尻富士町

図 2-2-15 左上:みなとピアガーデン(鴛泊港緑地) 右上:北海島まつり(南荷捌地)  
左下:プレジャーボート利用(中央-3m 物揚場) 右下:島民によるフェリー見送り

## (8) その他

「Sea 級グルメ」とは、みなとオアシスやその周辺で、地元の水産物を活かして作られ、名物として日常的に提供されたりイベントで提供されるグルメである。利尻富士町の Sea 級グルメとして、うに丼、利尻昆布ラーメン、とろろ昆布がある。

利尻町の Sea 級グルメには、利尻島産のタコを使用した「利尻タコカツ」があり、年に 1 回開催される Sea 級グルメ全国大会で出店され好評を得ている。

環境(脱炭素化)に配慮した取組として、利尻富士町と利尻漁業協同組合は、鴛泊の大磯地先水面及び本港地区の防波堤(南外)背後の静穏水域において、「利尻富士町のリシリコンブを活用した BC 事業」として、利尻コンブ養殖によるブルーカーボン事業に取り組んでおり、CO2 吸収量 37.8t-CO2 の認証を受け、J ブルークレジットとして発行し企業に購入されている。



図 2-2-16 ウニ丼



とろろ昆布



利尻昆布ラーメン



写真：北海道開発局 HP

利尻タコカツ



写真：利尻富士町

図 2-2-17 ブルーカーボン事業(利尻昆布養殖)



写真：マルゼンペンション レラ モシリ

うにめし丼

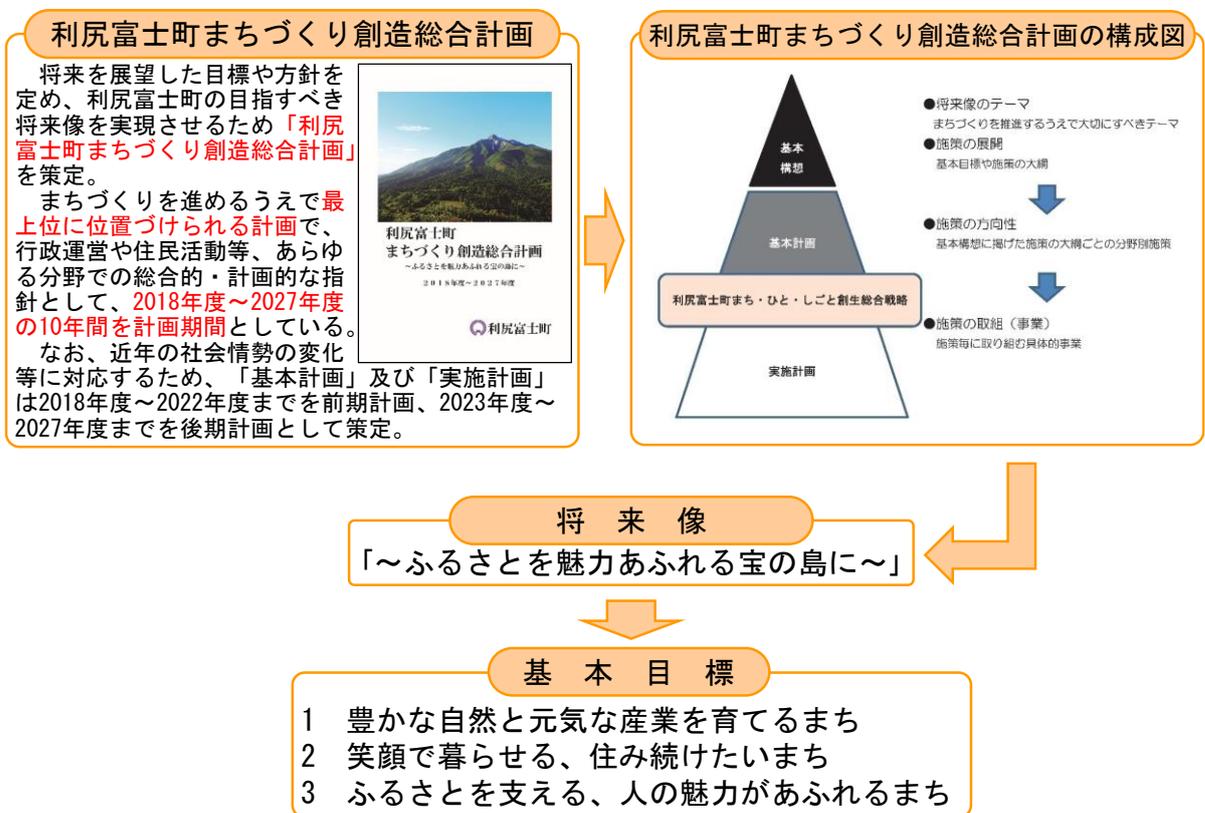
## 2.3 利尻富士町のまちづくり計画

### (1) 利尻富士町まちづくり創造総合計画

利尻富士町では、平成20年3月に第5次となる「利尻富士町新まちづくり総合計画」を策定し、恵まれた自然と調和した優しく快適な生活環境づくりと人と文化の育成、誰もが安心して暮らせる地域社会の構築と躍動感に満ちた産業の振興を基本理念にまちづくりに取り組んできた。

この間、本町を取り巻く環境は人口減少・少子高齢化の進行、多発する自然災害など、大きく変化していることから、このような社会情勢変化に対応した新しいまちづくりの指針として、利尻富士町の目指すべき将来像を実現させるため、平成30年3月、「利尻富士町まちづくり創造総合計画」を策定している。

本計画は、まちづくりを進めるうえで最上位に位置づけられる計画で、行政運営や住民活動等、あらゆる分野での総合的・計画的な指針として、2018年度～2027年度の10年間を計画期間としている。なお、近年の社会情勢の変化等に対応するため、「基本計画」及び「実施計画」は2018年度～2022年度までを前期計画、2023年度～2027年度までを後期計画として策定している。



資料：利尻富士町まちづくり創造総合計画を基に作成

図 2-3-1 利尻富士町まちづくり創造総合計画

表 2-3-1 実施計画(後期計画)(港湾関係)

施策の大綱	主要な施策	事業名	事業内容
水産業	安定生産に向けた種苗放流の推進	幼稚仔保育場造成	港湾や漁港を利用したウニ・ナマコ幼稚仔保育場造成
	生産性の向上を図るための養殖業の推進	うに籠養殖試験事業	技術開発、施設整備等の支援
	生産物の高度利用を図るための取り組み推進	販路拡大・輸出促進・地産地消の取組等の支援	水産品PR、イベント等への参加など
		6次産業化・新商品開発の取組の支援	試作・商品化等に対する支援
社会基盤(港湾)	港湾整備計画の推進	直轄港湾整備事業(鷺泊港)	物揚場(-3.5m)(南)改良・防波堤(南外)改良
		直轄港湾整備事業(鷺泊港鬼脇港区)	防波堤(南)改良・物揚場(-2.0m)改良
		鷺泊港長期構想の策定	新たな長期構想の策定
	港湾の利活用の推進	親水緑地(海浜公園)の整備	新たな観光施設としての整備検討
		プレジャーボート利用促進	プレジャーボート受入体制(情報発信等)の強化
		港にちなんだイベントの開催	みなとピアガーデン、観光客歓迎イベント等
	港湾の維持管理計画の推進	鷺泊港維持補修工事	港湾施設維持補修・浚渫・調査等
漁船上架施設改修工事		ワイヤー交換等	
交通機関(海上・陸上・航空)	人の往来、物資の流通に係る条件不利性の緩和	輸送費支援事業	水産物等戦略産品輸送費の支援

※赤字は現鷺泊港長期構想に関連する事項

資料：利尻富士町まちづくり創造総合計画を基に作成

表 2-3-2 実施計画(後期計画)(まちづくり関係)

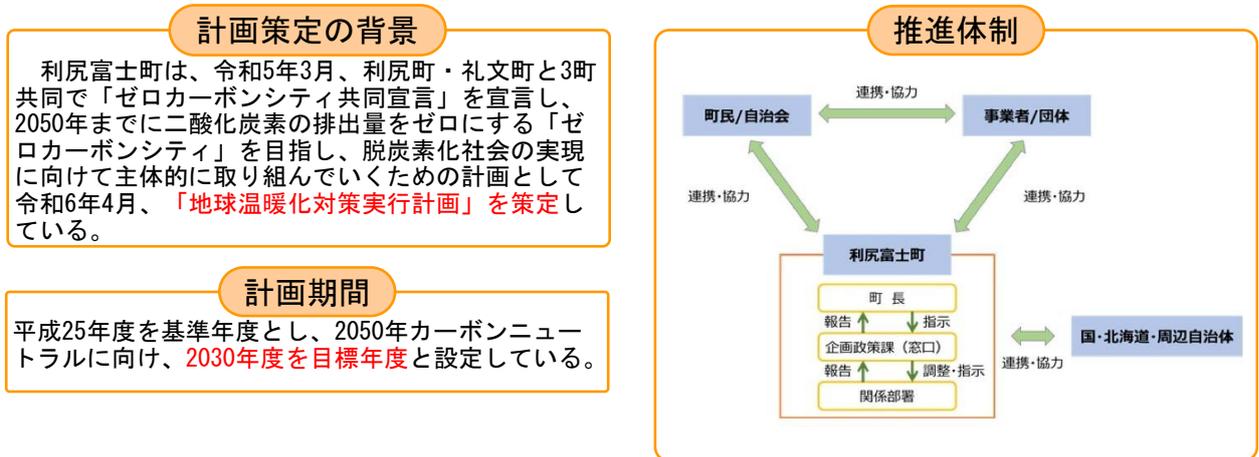
施策の大綱	主要な施策	事業名	事業内容
観光業	潜在型観光の推進	潜在型観光促進事業	新たな潜在型メニューを取り入れたツアー造成及び実証、地元ガイド事業者の育成等
	外国人観光客受入環境の強化	外国人観光客の広域連携による誘致対策	きた北海道広域観光周遊ルート観光推進協議会等との連携による海外プロモーションやファムトリップ受入への積極的な参画
		インバウンド研修事業への参加・開催	きた北海道広域観光周遊ルート観光推進協議会等との連携による受入研修事業への積極的な参加及び地元での研修会開催
		景勝地看板整備事業	主要観光施設看板の老朽更新に併せた多言語標記看板への更新
	観光情報発信の強化	着地型観光情報発信の強化	SNSを活用した観光情報発信の強化及び観光情報アプリ等の導入検討
観光パンフレット作成事業		広域連携による観光パンフの定期的な更新及び多言語用別冊パンフの作成	
自然環境・土地利用	公園計画及び施設整備計画	利尻山登山道迂回路整備事業	浸食が進行する合流点下への迂回路設置
		利尻山登山道等維持管理業務	登山道の継続的な維持管理
環境衛生	脱炭素社会に向けた取り組み	カーボンニュートラルへ向けた取り組みの促進	地球温暖化対策実行計画の策定、EV車両の導入・公共施設のLED化等省エネの実現 グリーンカーボン、ブルーカーボンによる二酸化炭素吸収の取り組み
情報・通信	地域情報基盤の整備推進	地域情報通信環境改善事業	公衆Wi-Fiの整備及び多言語対応

資料：利尻富士町まちづくり創造総合計画を基に作成

## (2) 地球温暖化対策実行計画

利尻富士町では、令和5年3月、利尻町と礼文町との3町共同で「ゼロカーボンシティ共同宣言」を宣言し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、脱炭素社会の実現に向け主体的に取り組んでいくこととしている。

本計画は、平成25年度を基準年度とし、2050年カーボンニュートラルに向け、2030年度を目標年度と設定している。



資料：利尻富士町地球温暖化対策実行計画を基に作成

図 2-3-2 地球温暖化対策計画策定

### ○地球温暖化の対策に向けた利尻富士町の重点プロジェクト

本計画では、自然的社会的条件に応じた温室効果ガスの排出の削減等のための施策として省エネルギー化の推進、エネルギーの適切な転換、二酸化炭素吸収源の整備等が挙げられている。

この中で、再生可能エネルギー等の最大限の導入・活用とともに、徹底した省エネルギーの推進を図ることを目的に、**モビリティにおける脱炭素化、地域特性を活かした多様なエネルギーの利用、ブルーカーボン生態系の保全等の取組を推進する計画**となっている。

省エネルギー化の推進	環境にやさしい商品の選択
	建築物の省エネルギー性向上
エネルギーの適切な転換	モビリティにおける脱炭素化
	自家消費型太陽光発電設備の導入
二酸化炭素吸収源の整備	地域特性を活かした多様なエネルギーの利用
	ブルーカーボン生態系の保全
町内環境の美化	森林の整備と間伐材の活用
	適切な廃棄物の処理
町内の環境意識醸成	資源循環の推進
	脱炭素行動の支援
	環境教育の推進

資料：利尻富士町地球温暖化対策実行計画を基に作成

図 2-3-3 地球温暖化対策計画

### (3) 鴛泊市街地整備計画マスタープラン

利尻富士町は、利尻富士町の中心市街地の再生の基本的な方向性を関係者相互が共有することを目的に、平成19年6月に策定した「鴛泊市街地整備計画マスタープラン」に基づき、漁業振興施設や総合交流促進施設りぷら、夕日ヶ丘やペシ岬の遊歩道、フェリーターミナル等の施設整備、うにむき・昆布造り体験の実施、観光マップの作成など、種々ハード・ソフト事業を推進してきた。

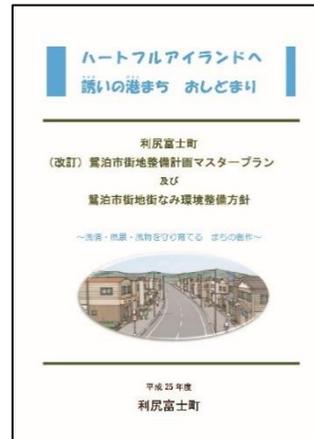
その後、平成20年度には、長年の懸案事項であった「道道利尻富士利尻線」の拡幅整備が北海道によって着手され、安全・安心なゆとりある道道整備が進められてきた。

一方、鴛泊市街地は、空港やフェリーターミナルを抱えることから、多くの観光客が訪れる地となっているが、島の玄関口にふさわしい魅力ある市街地の景観づくりが課題となっており、道道拡幅の整備に合わせて、ゆとりとうるおいのある街なみ整備が求められていることから、平成25年度に、町では、道道の拡幅整備と連動して、住宅、生活環境施設の整備改善を図り、ゆとりとうるおいのある市街地形成を図るべく、「街なみ環境整備事業」を活用した事業展開を行うため、その事業方針となる「鴛泊市街地街なみ環境整備方針」を策定し、同時にマスタープランを見直している。

## マスタープランのテーマ

### ハートフルアイランドへ 誘いの港まち おしどまり

鴛泊市街地の整備が、これまで地域が育んできた風情、風景、風物など、有形無形の美しいもの、真実なものに立脚して進められるよう、副題を「～風情・風景・風物を守り育てる、まちの創作～」としている。



ゾーン名	区分	整備の方向性	重点施策	事業推進
利尻島の ゲートウ エイゾーン	鴛泊駅整備 (フェリー ターミナ ル)	○フェリーターミナルの機能の強化	・フェリーターミナル収容人数の増大 ・バリアフリー化 ・情報発信機能の強化	港湾機能高度化 施設整備事業(進 行中)
		○フェリーターミナルにおける交通結節点機能の強化	・市街地への回遊性の誘導 ・人が集い休憩し交流する滞留・交流空間づくり	
		○フェリーターミナル周辺の駐車場収容台数の増大	・駐車場の確保	街なみ環境整備
水産関連 ゾーン	鴛泊港整備	○フェリーターミナルからペシ岬～商店街への誘導	・地域資源等への誘導案内機能の配置	街なみ環境整備
		○眺望や海との近接性を活かした滞留・交流空間創出	・防風雪対策施設の整備等とあわせた施設整備の検討	関連施策
	漁業振興	○水産物の付加価値向上	・加工品開発、六次産業化等による付加価値向上	関連施策
		○観光と連携した漁業振興	・漁業体験プログラムの充実	関連施策

※赤字は現鴛泊港長期構想に関連する事項

図 2-3-4 鴛泊市街地整備計画マスタープランテーマ



資料：鷺泊市街地整備計画マスタープランより抜粋  
 図 2-3-5 鷺泊市街地整備計画マスタープラン

